

# JECC 2025広島水道展レポート

10月29日～31日の3日間、広島市の「ひろしまゲートパーク」で開催された「2025広島水道展」には、全国の水道事業者や関連企業が多数参加しました。JECCは「水道標準プラットフォーム（PF）」をテーマに出展し、ブースには連日多くの来場者が訪れました。会場は秋晴れの下、活気にあふれ、水道事業におけるデジタル化やDXへの関心の高さを改めて感じさせる3日間となりました。

## ■ 来場者でにぎわったJECCブース

今回のJECCブースは、水道標準PFを担当する水道プラットフォーム事業部の社員により企画・運営。展示テーマは「水道DX・広域連携を推進するクラウドサービス」で、初日から多くの来場者でにぎわいました。

中央には「水道標準PF＝クラウドサービス」である

ことを示す大型パネルを設置し、データの標準化やクラウド化による業務効率化、災害対応力の強化などをわかりやすく紹介。また「水道標準PF×AI＝水道DX」をテーマにした展示図では、AIによる水の需要予測、漏水検知や広域連携のイメージを掲示し、注目を集めました。

担当する社員が来場者に丁寧に説明を行いながら、実際に保守点検のデータ入力や施設閲覧を行うデモ操作も披露。体験を通じて理解を深める形式が好評で、「現場の業務を想像しやすい」「導入後の活用イメージが具体的」との声が相次ぎました。

こうした声に加え、ブースでは水道事業者や自治体職員のほか、関連メーカーやベンダーの来場も多く、特に「クラウド基盤によるデータ標準化の仕組み」「全国的な導入件数の広がり」に関する質問が目立ちました。パンフレットも当初の想定を上回るスピードで配布され、来場者の関心の高さを物語る結果となりました。

(図1) 水道標準プラットフォーム＝クラウドサービス（サーバの提供）



(図2) 水道標準プラットフォーム×AI＝水道DX



## ■ 現場で得た声を次のステージへ

3日間を通して、JECCブースでは終始活発な意見交換が行われました。来場者からは「クラウドを活用したシステムの導入・運用のイメージがつかめた」「広域化を実現させた具体的な仕組みを知りたい」といった声が多く寄せられ、貴重な交流の場となりました。

水道プラットフォーム事業部の担当者は「直接お話しすることで、現場が求めるニーズや課題を具体的に把握できました。今後の提案活動につなげていきたい」と語ります。

展示ブースでは水道標準PFを中心に、JECCが提供するデバイスマネージドサービスなどの関連サービスも紹介。水道事業のDXを支える総合的なデジタル基盤としてのJECCの取り組みを発信しました。

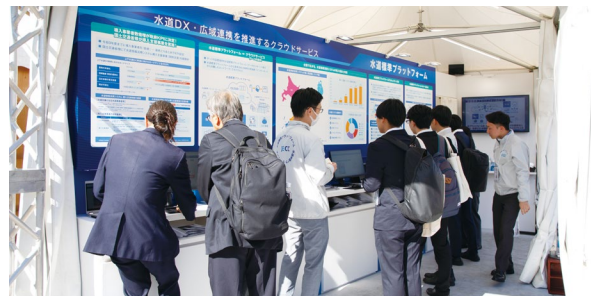
JECCでは、今回の広島水道展で得た成果を踏まえ、今後も全国各地で展示会や説明会を通じた情報発信を継続していく予定です。水道標準PFの普及促進に加え、



JECCブース外観。秋晴れの会場には連日多くの来場者が訪れ、期間中の来場者は累計700名以上に達した

標準データを活用したAI分析、災害時の情報共有など、データ利活用型DXの推進にも力を注いでいきます。

JECCはこれからも、水道事業の安全・安心・効率を支えるデジタルパートナーとして、現場とともに次のステージを目指します。



簡易台帳アプリを用いたデータ閲覧・登録を実演。現場での運用イメージを体感



担当する社員が水道標準PFの仕組みを説明、来場者から熱心な質問が寄せられた

### ●お問い合わせ

株式会社JECC 水道プラットフォーム事業部  
TEL: 03-3216-3605 MAIL: [jecc-wsp@jecc.com](mailto:jecc-wsp@jecc.com)  
<https://www.jecc.com/service/list/ws-platform.html>

JECCグループ デジタルリユース株式会社

www.digital-reuse.com

再生を超えて、創造へ。



リユースの力で、世界をより良く  
地球にも、未来にも、価値ある選択

高度な技術で、IT機器を再生し付加価値を創造していく。当社は循環型経済の一端を担い社会課題を解決していきます。

☐ ITADサービス  
☐ データ消去サービス  
☐ IT機器リユース

☐ キittingサービス  
☐ フィールドサービス  
☐ MARライセンス販売

JECCNEWS

11

2026年新春号 No.594